

なかねっぴいの

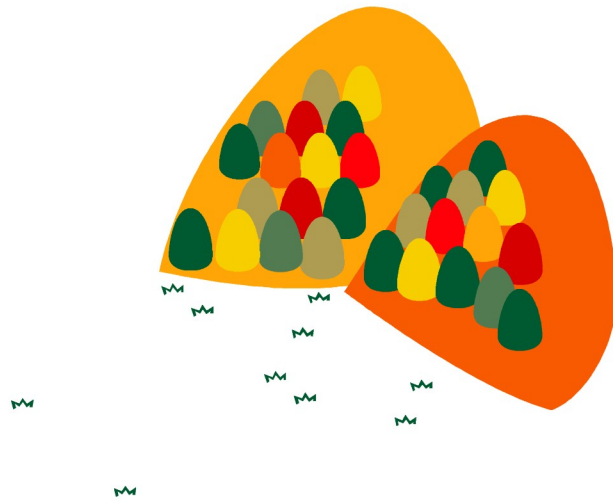
願い





お話のはじまり
はじまり

むかし、むかし。



牛久うしに中根小なかねしょうという学校がっこうがありました。学校がっこうには、なかねっぴいーとたくさんの友だちともがおりました。そんな中なかの4人にんの子どもたちだけは、友だちともがいませんでした。「どうにかして、この4人にんを幸しあわせにしたい」と、この学校がっこうのリーダーなかねっぴいーは、願ねがっておりました。



ある冬ふゆの日のことひです。牛久うしくに大雪おおゆきが降りふりました。なかねっぴいいえの家にも、たくさんゆきの雪が降りふりました。なかねっぴいにわが、庭で雪かきゆきをしていると

「助すけけて！」

と叫さけぶ声こえがしました。

「あれ！どこから聞きこえてくるんだろう」

なかねっぴいにわが、庭を見回みまわしても、誰だれもいません。ふと足下あしもとを見ると、アリみさんが、雪ゆきに埋うももれていました。

「あー、かわいそうに」

なかねっぴいいそは、急いそいで、アリゆきさんを雪したの下から助すけけ出だしました。アリないさんは、泣ないて喜よろこんで

「きっと、恩返おんがえしをします」

とって、巢すに戻もどっていきました。



ある夜の事です。なかねっぴーの「4人を幸せにした
い」という願いが強くなりました。しかし、考えても考えて
も、うまくいきません。

「もうだめだ」

なかねっぴーが、あきらめかけたその時です。アリさんが
枕元に立って、いうのでした。

「なかねっぴーさん。なかねっぴーさん。だいじょうぶで
すか。冬に助けていただいたアリです。とても困っているとい
うことをウグイスさんに聞いて、おどろいてようすを見に来ま
した」

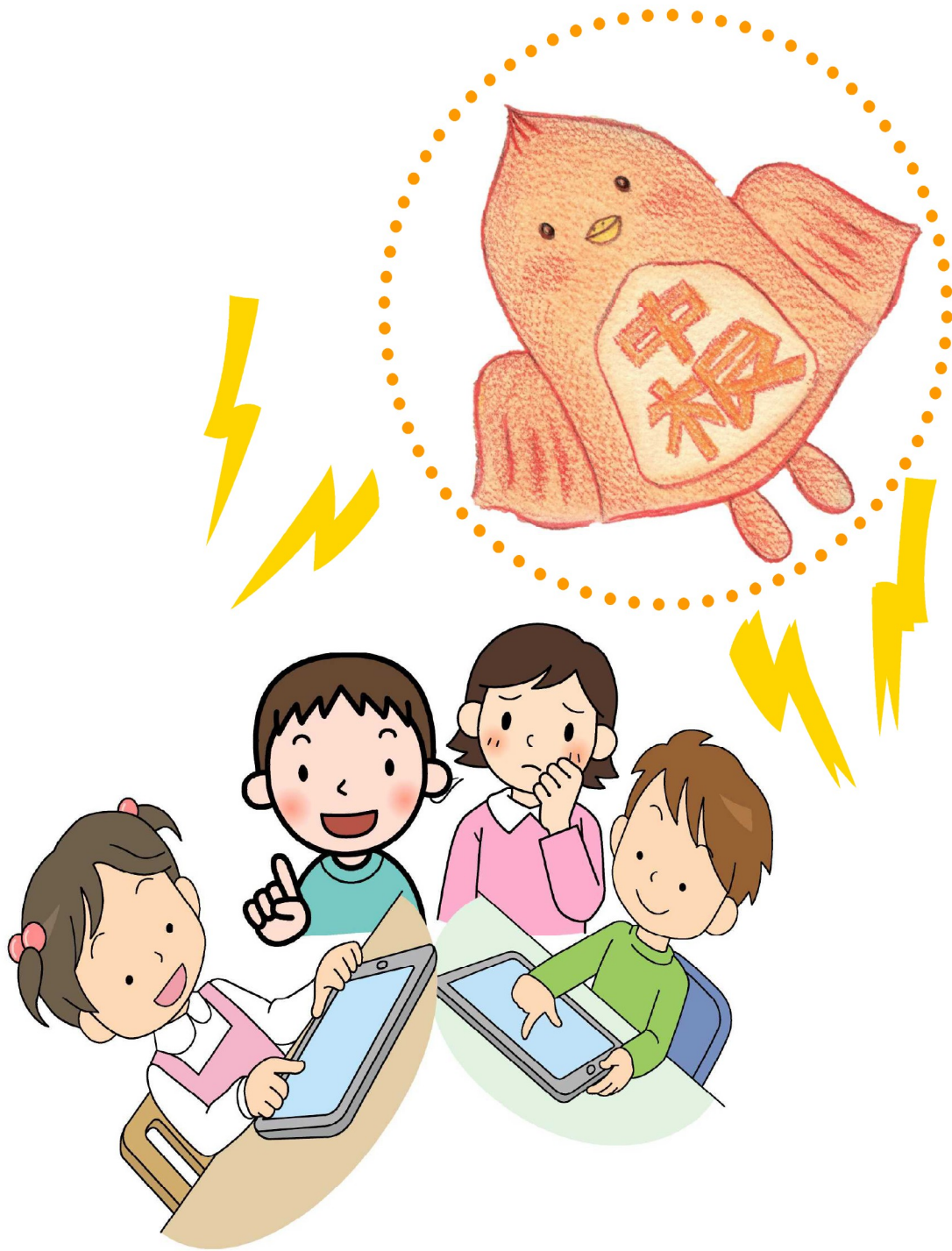
なかねっぴーは、おどろきましたが、涙ながらに話し始め
ました。

「私の4人の友だちが、授業でつらかったり悲しかったりし
ているので、何とか幸せにしたいとおもっているのですが、な
かなかうまくいきません。すればするほど、どんどんまわりと
かかわれなくなっていくのです。もう、どうしようもありませ
ん。」

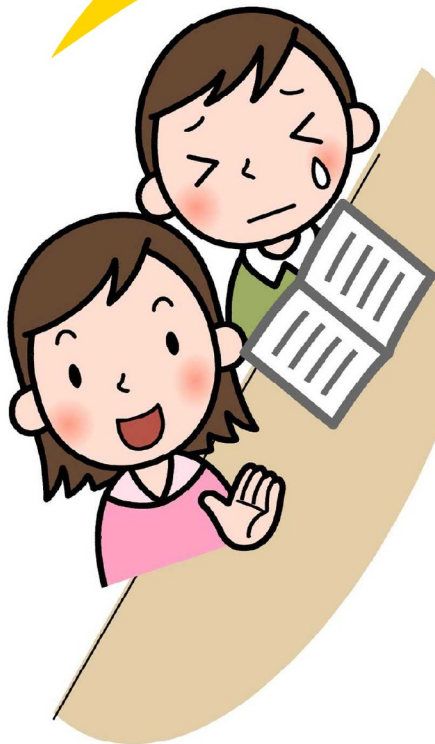
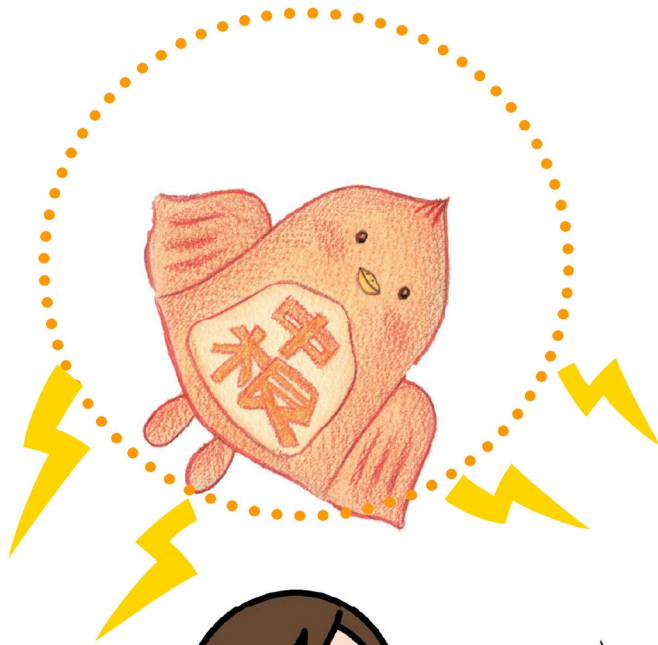
話を聞いたアリさんは、なかねっぴーにある魔法をかけま
した。



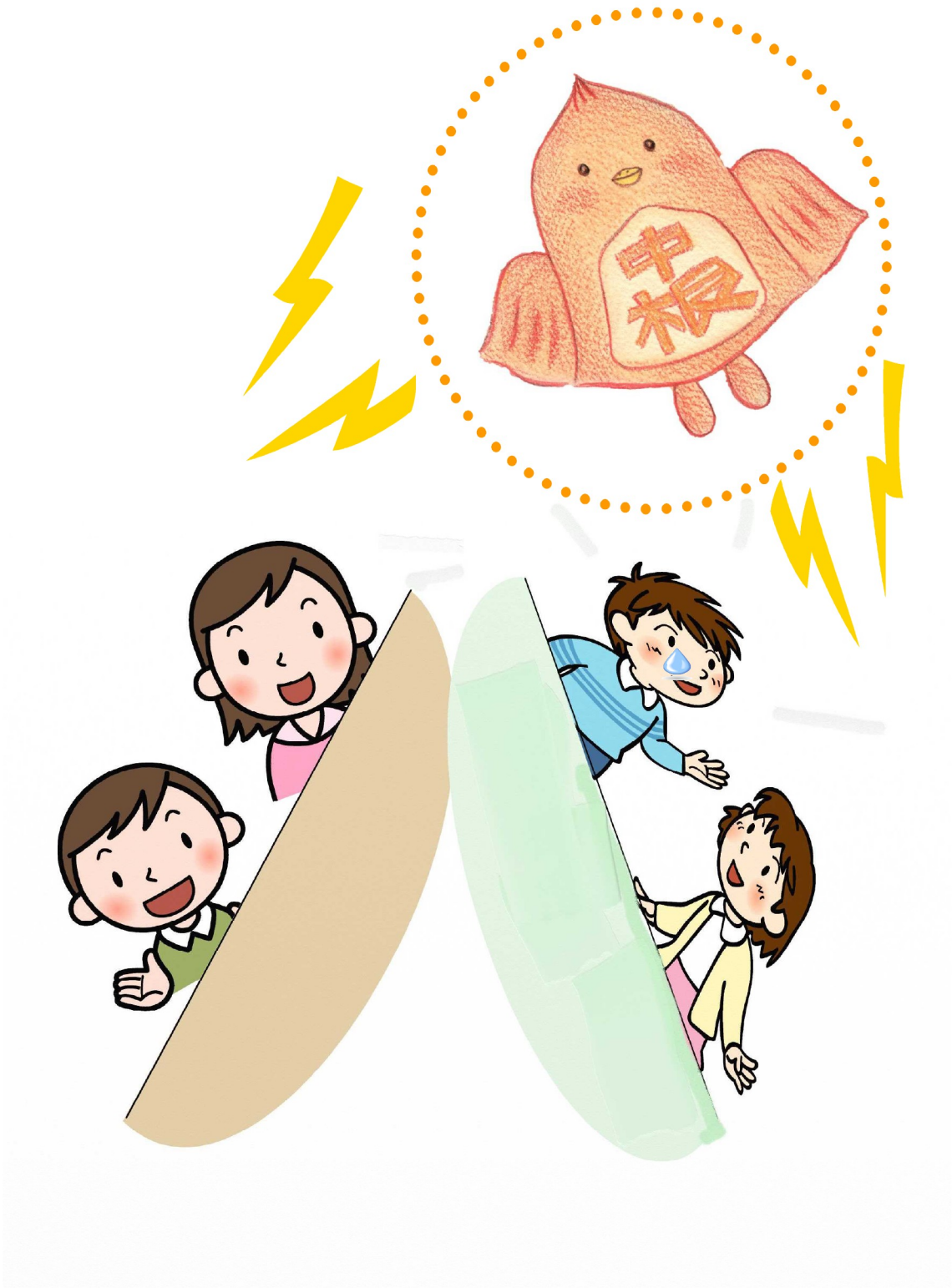
次つぎの日のことひです。4人のグループで学んでいた時のこと
です。一人ひとりの女の子おんなこは、何を学習なにがくしゅうしているかさっぱり分かり
ません。ただ話はなしを聞いているふりをして、じっと時間じかんが過ぎ
るのをままっているのです。ノートは、真まっ白しろです。女の子おんなこ
にとって、とてもつらい時間じかんでした。その時ときです。なかねっぴ
いーが、そそと女の子おんなこのわきによりそそいました。するとどう
でしょう。女の子おんなこは、となりの男おとこの子こに「教えて、ここどう
すればいいの？」と聴きくことができたのです。



ある日のことです。4人のグループで学んでいた時のことです。一人の男の子は、友だちのノートが見えるとすかさず写すのでした。自分でどうしようもなく、ただ写すだけしかできなかつたのです。とても悲しい時間でした。なかねっぴーが、そっと男の子のわきによりそいました。するとどうでしょう。男の子は、となりの男の子とそのグループの仲間に「教えて」ということができたのです。



ある日のことです。4人のグループで学んでいた時のことです。ある男の子が、わからないで困っていました。となりの女の子に聴こうとしたら、女の子は、別の友だちから説明を受けていたのです。しかたなくもう男の子は、女の子が話が終わるまでじっと待っているのです。とてもつらい時間でした。その時です。なかねっぴーが、そっと男の子のわきについて、魔法をかけました。するとどうでしょう。男の子に気づいた女の子が、
「私もわからないんだ。一緒に説明を聴こうよ」といって、くれたのです。こうして男の子は、安心して学び合いに加わることができたのです。



ある日のことです。4人のグループで学んでいた時のこと
です。一人の女の子は、

「ちがうよ。ちがうよ！」

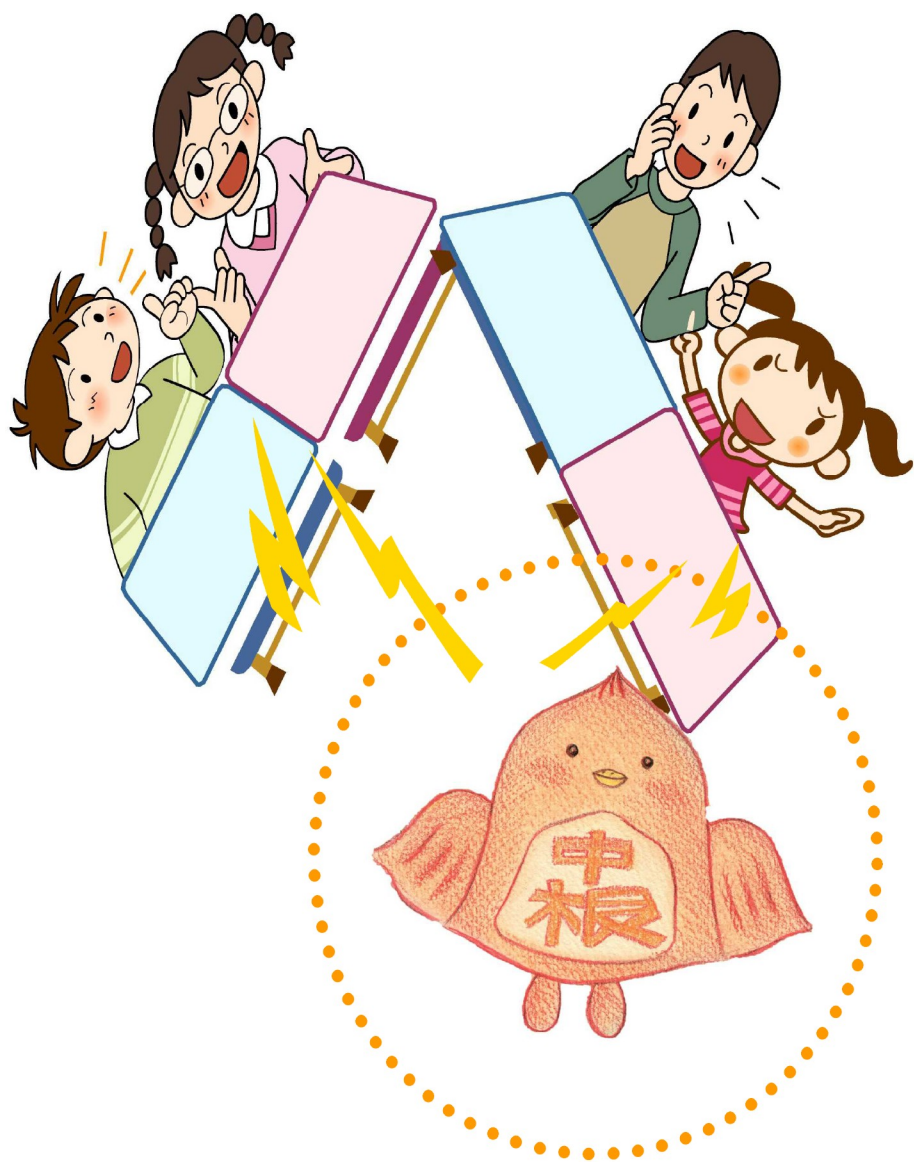
どうしても、みんなの意見に納得できませんでした。その時で
す。なかねっぴーが、そっと女の子のわきによりそいまし
た。するとどうでしょう。となりの女の子が、心配して女の子
にわかるように説明してくれたのです。まわりの友だちも、そ
の二人の姿を温かく見守っていました。

「あ！そうか。そういうことか」

やっと納得した女の子は、となりの女の子と周りの友だちに心
から

「ありがとう」

とお礼をいうのでした。



なかねっぴーが、かけられた魔法は「そっと、よりそう
ことで、誰も見捨てない。誰も一人にしない」という魔法だっ
たのです。こうして、いままでの4人にとって、とてもつらく悲
しい教室は、楽しく学び合う時間となり、幸せにかがやく教室
になったのでした。実は、アリさんは、子どもたちを幸せに
する妖精だったのでした。

その後、なかねっぴーの願いがかない4人の友だち、そし
て、学校中の子どもたちは、妖精に見守られながら、学び合
って、笑顔いっぱい幸せいっぱいになっていったのでした。





お話のおしまい



牛久市立中根小学校

監修 長谷川安男

絵・文 飯田 昭夫